



学芸員が選ぶ 今月の★イッピン★

伊藤若冲《鸚鵡図》

この作品は今展示されていますか?と問い合わせの多い人気者が、伊藤若冲(1716-1800)の「鸚鵡図」です。中国風の豪華な止り木もさることながら、繊細にあらわされた羽根の美しさは、鳥、ことに鶏の画で著名な若冲の面目躍如といったところでしょう。白い絵具による細い線を丹念に重ね、さらに濃淡をつけていますが、部分によっては地の色そのまま残すことで羽の透けるような質感を表現しています。



京都の裕福な商家の長男として生を受けた若冲は、幼いころから画を好み、40歳ごろに家業を弟に譲って以後は画業に専念しました。卓越した描写力とイマジネーションによる独創的な作品世界は、現在でも国内外の人々を魅了し続けています。

若冲が活躍した江戸時代、珍しい動物や鳥を描くとき、絵図をもとにすることも多いのですが、本図については舶来のオウムを実際に見て描いたと考えられています。確かに、鳥独特のきょとんとした表情や仕草の特徴がよく捉えられていますね。



今年秋に展示予定です。ぜひ、ご覧ください!

松岡学芸員

市美術館 ☎221-2311 ㊟221-2316

市美術館は、7月のリニューアルオープンに向け、改修工事を行っています。休館中は、市美術館が誇るコレクションからイッピンを紹介します。

7月
リニューアル
オープン

こんな施設が
できます

常設展示室

市ゆかりの作品、浮世絵、江戸絵画、近代版画、現代美術など、バラエティーに富んだ約1万点の著名な所蔵作品のハイライトが見られます。

ワークショップルーム

ワークショップやパフォーマンス、滞在型の制作活動など、作る楽しさを体験できるスタジオです。

5F

子どもアトリエ

アーティストがつくった空間の中で子どもたちが一緒に制作、活動するアトリエです。

図書室

子どもから大人まで本を通して美術に親しめる、美術関連図書をそろえたオープンな図書室です。

4F

さや堂ホール

さや堂をエントランス化し、美術館の顔として活用します。

1F

千葉市の🍓をつくらべ!

市内ではさまざまな農産物がつくられています。産地ならではの、新鮮で旬の農産物をおいしくたべませんか?

イチゴ 旬…12月中旬～5月下旬



千葉県は全国有数の生産量を誇るイチゴの産地です。市内でも、とれたてのおいしさをそのまま味わえるイチゴ狩りができる観光農園や直売所が数多くあります。

農園では真っ赤に熟すまで大事に育ててから収穫するので、甘さもひとしおです。

千葉市民は日本一イチゴが大好き?

総務省による調査*では、1世帯当たりのイチゴの年間購入金額・購入数量ともに、千葉市が1位(購入金額4,756円・購入数量3,256g)でした!

*家計調査(二人以上の世帯)品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング(2016年～2018年平均)



イチゴ狩りが楽しめる観光農園が今年もオープンします。入園料、持ち帰り料

金、事前予約の有無などは農園によって異なりますので、各農園にお問い合わせください。

★ドラゴンファーム



電話 235-3788
場所 若葉区小倉町1354
期間 1月上旬～5月中旬

★みはる野いちご園



電話 250-1592
場所 花見川区宇那谷町227-1
期間 1月上旬～5月上旬

★みつばちファーム



電話 090-3086-0330
場所 緑区平川町1292
期間 12月20日(金)～5月下旬

★とけのいちご 中村農園



電話 294-7905
場所 緑区上大和田町273
期間 1月3日(金)～5月上旬

★エアト・ベーレ



電話 294-0757
場所 緑区大高町26-34
期間 1月3日(金)～5月下旬

★ガイヤファーム



電話 080-3096-3944
場所 緑区平山町1048
期間 1月中旬～5月中旬

★山崎いちご農園



電話 294-5105
場所 緑区板倉町62
期間 2月中旬～5月中旬

市農政課 ☎245-5757 ㊟245-5884

市園芸協会(観光農園) ☎228-7111 ㊟228-5779 月曜日(祝日の場合は翌日)休業